

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。  
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。  
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

### 1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

### 2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

### 3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

### 4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

### 5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

当会所属議員の中に学童保育を自ら運営している議員、施設を提供している議員もあり、さいたま市の子育て施策の中の学童保育施策に関しては高い意識を持っています。さいたま市の学童保育は民設民営にシフトされており、公設クラブとの様々な格差が生じている事も認識しているところです。過度な保護者負担が生じないよう、また同じさいたま市の児童が安心して学童保育を利用できるよう更に取り組んでまいります。

ご署名 **自民党** さいたま市議会議員班

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

### 1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

適正規模については議論の余地があるが、よりシンプルに、規模や体制に合わせた十分な財政的支援が必要であると考えます。

### 2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

公的施設(特に学校等)の積極活用を主とし、自治体として施設を提供できないのであれば、公費として補助・負担していくべきと考えます。

### 3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

まずは利用希望者が不安なく、金銭に支えられる環境や体制を整えていきたい。公的施設(空室教室等)の活用が進めば、自然と格差は解消の方向に進むと考えます。

### 4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

職員や支援員の処遇改善は必要であると考えます。また、地域住民(学生のインターンシップ等)が非常勤のサポーターとして参画できる様な仕組みも考えます。

### 5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

現在も、子どもたちが学童のお世話になっており、感謝申し上げます。  
 共働きが一般的になった今、保育や学童は自治体を取り組むべき最優先の課題と考えます。現存資源(公的施設)の活用はもちろん、業務効率化により負担を減らし便益を高める方法は多分にあります。子どもたちが健やかに成長できるよう、支える周りの人々の心を豊かにしていければと思います。

ご署名 柿沼成明

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

# 2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。  
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。  
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

## 1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

## 2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

## 3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

## 4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

## 5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

私は南区全ての地域をまわり多くの方のお話を聞いてきました。その中でやはり学童保育に関するご相談を多く頂きました。政治の現場では幼児保育・教育にばかり光が回り学童保育に関する議論は置き去りにされてきました。安心して働ける環境づくりには学童保育の充実が欠かせないことだと考えています。先日も学童保育連絡協議会様に訪問させていただき、現状のお話をお伺いする中で、やはり施設の充実、働く皆様の環境整備を強化しなければいけないと強く感じました。学童保育の充実は私の重点政策とさせて頂いております。私は、日本維新の会として「行財政改革」を徹底的に行い、財源の見直しを図り、学童保育に予算を投じられるようさいたま市に強く要請していきます。

ご署名

吉村 正史

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。



日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。  
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。  
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

中が運営に目的責任と果てたのは当然のことです。委託金制度は抜本的な改善が必要だと思います。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

公設学童が不足しているため、民間の学童は定員がいっぱいになり、その対策を自らとらなくてはなりません。要望項目は当然、行政が実施可能な範囲で。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

費用負担が大きいので、学童に通うのをためらう。といった声もよく聞かれます。負担軽減は必ず必要です。近隣市に比べても負担の大きいまま、改善が求められ、市民格差の解消は特に急がれます。行政からの支援が必要だと思います。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

職員が働き続けられる体制づくりを前提にした行政からの補助が必要で、国の補助制度も活用し、処遇改善を行うべきです。

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

学童は子どもにとって大切な！安心できる居場所"になってほしいです。お父さんお母さん(時にはおじいちゃんおばあちゃんも)にとっても安心して託せる学童を作るためにがんばってほしいです。私も力を尽くします。  
ご署名 金子 昭代

# 2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。  
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。  
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

## 1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

安心安全が第一です。

## 2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである  
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである  
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである  
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

学校の利活用大賛成です。

## 3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである  
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

子どもたちの安心安全を保つことは大前提であり、願っています。

## 4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである  
 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである  
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである  
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

改善が期待できることは全てやるべきと考えます。

## 5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

今まで、ここまでになるまでに積極的に対応してこられた方々が本当に理解できません。さいたま市は「保育園不足」から「学童保育不足」は想定で正しい話ではないか。行政側は、確め、御ねと叫ぶ前に、子ども育の環境を整えるべきです。  
ご署名 佐藤真実

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

# 2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にさせていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

## 1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

上記の通りと思います

## 2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

上記の内容に全く賛同します

## 3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

全くその通り

## 4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

全くその通り

## 5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

私は、民設と公設の格差を解消することと、民設の運営については、保護者の負担(経済的・物理的両方)を軽減すべきであると思います。議会でも、このように訴えています。

ご署名 松下 水一

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。  
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。  
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

### 1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

市独自の加算をすべきと考えます

### 2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである  
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである  
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである  
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

### 3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである  
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

### 4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである  
 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである  
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである  
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

対策の検討しなくてはならないと考えます。

### 5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

市に働きかけ、できる限り努力いたします! 皆様の意見を反映させていきたいので、ぜひお聞かせ下さい。  
皆様、がんばって下さい!

署名 津和野真佐子

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。  
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。  
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

### 1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

多くの子とも運を預かって下さる学童が負担が大きいため  
ありません。改善に向けて全力を尽くします。

### 2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである  
施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

学童は学校内に作り公設民営で運営をお願いします。  
全ての学校に学童を作るため頑張ります。

### 3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである  
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

公設と民設の格差を埋めるべく全力を尽くします。

### 4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである  
 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである  
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである  
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

人手がいなければ運営できません。人手不足解消は重要です。

### 5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

子ども達は未来の宝です。そして学童保育がいなければ  
安心して保護者も働くことができません。ぜひ私も待たず  
児童解消のため全力をあげます。力をあわせて頑張り  
ましょう!!

ご署名 浜口 健司

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。



# 2023さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。  
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。  
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

## 1.さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

適正規模に誘導するための国の基準は理解するが、委託金が減額となった大規模クラブには、クラブ側の意見を丁寧に聞き取り、差額補助を認めるべきである。

## 2.新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである  
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである  
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである  
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

模範方式や川崎方式など先行自治体をよく研修して、さいたま市の人的資源、地域資源に合った「さいたま方式」による学校活用の一環を実施すべき。市長部局と教育

委員会がもっと積極連携しなければならぬ。

## 3.保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである  
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

さいたま市は「民設民営」で保護者負担が重すぎる!施設運営(整備も)を保護者担せにせず、行政が責任をもって推進していくべきです。

## 4.人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである  
 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである  
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである  
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

放課後児童クラブの人手不足解消のための各種支援策は、保育所保育士のそれと比べてまだまだ不足している。早急の対応実施を求めている。

## 5.ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

学童関係者の皆様、いつもありがとうございます。南区は待機が「み/の凶脈」状態です。子どもの育ちや安全確保の面からも相当深刻だと実感します。個人的にも、新設分離におけるご相談や物件探しについて微力ながらお手伝いさせて頂きました。数々の問題解決に向けては、市役所の担当課の限られぬ人員数に限界もあろうかと思っております。

「学童保育対策推進室」のような

ご署名

富田 かおり (南区)

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

※組織改編も必要な時かもしれません。ひき続き、しっかりと取り組んで参ります。